

2021年12月21日（火）【外為L a b】松田哲

タイトル：【今週はクリスマス】

今日は12月21日（火）で、今週の金曜日（12月24日）は、クリスマス・イブです。

今週の土曜日（12月25日）は、クリスマス当日です。

稀に暖かい日もあるけれども、日に日に寒い日が増えています。

地球温暖化が進んでいるとは言え、さすがに年末が近づいて寒くなつた、と感じています。

マーケット（外国為替市場）も、今週がクリスマスの週なので、市場参加者が徐々に少なくなっている様相だ、と感じています。

マーケット（外国為替市場）の値動きが緩慢になり、値幅も小さくなっている、と感じています。

「クリスマス相場」の典型と言って良いのでしょうか。

+++++++++++++++++

12月に入って以降の外国為替市場は、「クリスマス相場」の真っ直中です。

今年は12月24日が金曜日に当たり、ロンドンやニューヨークの市場参加者の多くは、すでにクリスマス休暇を楽しんでいる、と思われます。

ただし、12月の日本は、師走の忙しさであり、年末が近づけば、何となく慌ただしい雰囲気もさらに深まることでしょう。

日本人には、

「クリスマス相場、クリスマス休暇と聞いても実感がわからないのだろう」と考えます。

しかし、残念ながら、外国為替取引の中心地はロンドン市場とニューヨーク市場。

「師走で忙しいから取引も活発なはず」という東京市場の（日本人の）「常識（そうあつて欲しいという願望）」は、通用しません。

それどころか、ロンドン市場やニューヨーク市場では、開店休業状態のクリスマスの月やクリスマスの週に取引している市場参加者は、よほど大損してパニックになっている間抜けな奴としか見てもらえません。

日本人の感覚に置き換えれば、  
「(市場は閉まっていますが) 元日に出社して仕事をしている奇特な奴」  
ということになるのでしょう。

東京市場が力を付けてロンドン、ニューヨークを凌駕する日がくれば、クリスマス相場の  
様相も変わってくるのでしょうか・・・。

私も、東京市場の発展を願っていますが、今の時点では、東京市場が世界の中心になるこ  
とは、夢想に過ぎず、現実的ではない、と考えます。

まだ取引をしている投資家は、手仕舞いする準備をする時、としてください。

どうしても相場から離れたくないというのなら、損をしても致命傷にならないポジション  
の大きさにとどめるべき、と考えます。

+++++  
+++++

(2021年12月21日東京時間13:00記述)